

活動名称

タカラモノプロジェクト

エントリー部門

活力ある地域づくり

最優秀賞

部門賞

ルート名称

支笏洞爺ニセコルート

①活動概要

「支笏湖や洞爺湖で駆除されている ウチダザリガニを食べられないか？」という何気ない一言から始まったこのプロジェクト。その後、色々な議論や試行錯誤を経ていくうちに季節の変化とともにどんどん形を変えながら最終的に落ち着いたのが捨てられているものやこれまで見向きもされなかったものに“光”をあてて『地域の宝物☆』として再活用していこうという取組。このプロジェクトには、単なる「体験」や「交流」にとどまらずにこれまで捨てられていたモノや見向きもされなかったモノに『光』をあて、“新たな付加価値”をつけようという思いが込められています。

ルート連携事業として、平成23年度から継続的に活動が展開されています。

②活動の体制

- ①支笏洞爺ニセコルート代表者会議
 - ・全体企画、各種プロジェクトの実施、地域内における合意形成の推進
- ②ルート内の飲食店、集客施設
 - ・試作メニューの提供、商品販売 ほか
- ③地元の小学校
 - ・「昔の遊び」の伝承（出前事業でのイタドリを使ったチャンバラ、笛づくりなど）
- ④旅行代理店
 - ・プロモーション、モニターツアーの実施 ほか

③PRポイント

【苦労した点や工夫した点】

- ・商品化に向けた素材（イタドリ、ムカゴ、スベリヒユほか）のロット確保。
- ・地域内への周知、次世代への継承を目的とした小学校での活動展開。
- ・地域内への取組周知を目的とした広報媒体の作成。
- ・『カクレモノプロジェクト』として継続展開中のモニターツアーの実施。

【活動の効果】

- ・イタドリを活用したパンの製作、ムカゴを活用した料理の提供などがルート内のホテルや飲食施設において徐々に始まっている。
- ・流通のシステムに載らない小さな産地の隠れた食材を訪れた方々に味わっていただくことで食の文化や伝統的な郷土料理を見直し、地元の食の文化と味を“伝え”“広め”“楽しむ”ことにつながった。
- ・平成25年度からは、食材のみならず、地域の文化（遊び）を継承する取組に波及している。

【今後の活動予定等】

将来的には、本プロジェクトをベースに支笏洞爺ニセコルート内資源の循環的な利活用及び沿道景観の維持につなげるよう進めていきたい。



Facebookによる
情報発信

試作メニュー開発
商品販売



ムカゴを活用した料理
(ゆうもあ亭にて商品化)

旅行代理店
プロモーション
モニターツアーの実施



モニターツアーチラシ

「昔の遊び」の伝承
(倶知安東小学校)



取組み周知チラシ